

# 広島交響楽団 特別定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The Special Subscription Concert

ウラディーミル・フェドセーエフを迎えて



指揮  
ウラディーミル・フェドセーエフ  
Conductor: Vladimir Fedoseyev

©Roman Goncharov

ショスタコーヴィチ(没後50年)  
ピアノ協奏曲第1番ハ短調作品35\*

Shostakovich: Piano Concerto No.1 in C minor Op.35

チャイコフスキイ  
交響曲第5番ホ短調作品64

Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor Op.64

コンサートマスター:三上亮、北田千尋  
Concertmaster: Ryo Mikami, Chihiro Kitada

2025.6.21(土) 15:00開演  
[14:00開場]

Saturday June 21, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]  
広島国際会議場フェニックスホール  
Phoenix Hall Hiroshima



チケット料金／S席:12,000円・A席:9,000円 ※小・中・高校生はS・Aとも半額

チケット発売日／2025年4月21日(月)

プレイガイド／ローソンチケット(Lコード:62920)、チケットぴあ(Pコード:289-302)、広響webチケット、広響事務局

被爆80周年 酒井茜&広響室内楽コンサート～明子さんのピアノとともに～



広響平和音楽大使マルタ・アルゲリッチが推薦するピアニスト酒井茜が  
広島のためにプロデュース。広響メンバーとともに平和への想いを捧げる。

日時 | 2025年6月22日(日) 15:00開演[14:30開場]

会場 | JMSアステールプラザ オーケストラ等練習場

ピアノ:酒井茜 ヴァイオリン:北田千尋 ヴィオラ:安保恵麻  
チェロ:マーティン・スタンツェライト フルート:森川公美  
クラリネット:高尾哲也

●入場料(税込・全席自由)／一般:2,000円 6/21のチケットをご購入の方は割引料金1,000円



主催／広島市、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛／ 巣守金属工業株式会社

特別協賛／ 中国電力 ひろぎんHD  
未来を、ひろげる。

後援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、  
中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、  
広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ 広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

# 未来への継承

少年期にレニングラードの壮絶な戦争体験の中で音楽の意味を見出した巨匠ウラディーミル・フェドセーエフがロシアを代表する二人の作曲家、ショスタコーヴィチとチャイコフスキーの名作に未来へのメッセージを込める。そして、次代を担う角野隼斗と児玉隼人(二人のHAYATO)との共演では92歳のマエストロは何を語り、何を託すのか。被爆80周年の節目に広響の持てる全てを注ぎ一世一代の演奏で応える。



©Roman Goncharov

**指揮:ウラディーミル・フェドセーエフ** Conductor : Vladimir Fedoseyev

1932年レニングラード(現サンクトペテルブルグ)生まれ。1974年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の音楽監督及び首席指揮者に就任。以後40年を越えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、海外での評価も確立している。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ハンブルク・フィル、フランス国立管、フランス国立放送フィル、ベルギー国立管、チューリヒ・トーンハレ管、クリーヴランド、デトロイト、ピツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。さらに1996年より東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、1997年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務めた。オペラの分野でも精力的に活躍しており、チューリッヒ歌劇場での数々のプロダクションに加えて、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ5月音楽祭、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、サンクトペテルブルグ・マリン斯基劇場などの一流オペラハウスや音楽祭の指揮台に上がっている。

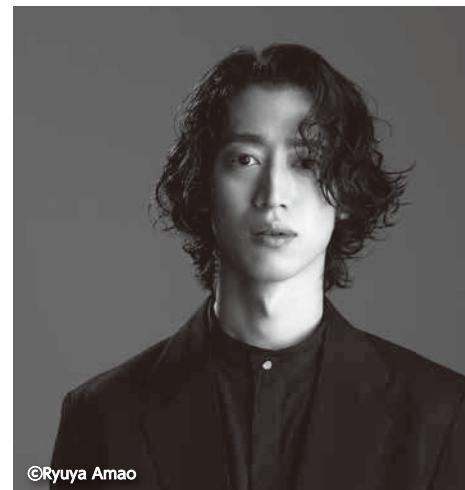
フェドセーエフはこれまでの偉大な功績に対し、ロシア政府はもちろんオーストリア政府、ウィーン市、オーストリア・アカデミー、グスタフ・マーラー協会などから数々の賞を受賞。2012年9月にはロシア正教会の最高位、キリル総主教からセルギイ・ラドネジスキイ最高位の勲章を叙勲した。

**ピアノ:角野隼斗** Piano : Hayato Sumino

2018年、東京大学大学院在学中にピティナ特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、N響、読響など、国内外のオーケストラと多数共演。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、昨年はロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)、ラヴィニア音楽祭(アメリカ)、グシュタード・メニューイン音楽祭(スイス)、ラインガウ音楽祭(ドイツ)へのデビューを果たしたほか、パリ、シンガポール、ソウル、そして、2025年1月には自身最大の7都市を巡るEUツアーや開催。ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界でのリサイタルを成功させるなど、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューも予定されている。

“Cateen(かていん)”名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数140万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。現在、ニューヨーク在住。CASIO電子楽器アンバサダー、スタンウェイアーティスト。

角野隼斗オフィシャルサイト: [hayatosum.com](http://hayatosum.com)



©Ryuya Amao

**トランペット:児玉隼人\*** Trumpet : Hayato Kodama

2009年、北海道釧路市生まれ。5歳からコルネットを吹き始め、9歳から本格的にトランペットを始める。2024年、第39回日本管打楽器コンクールトランペット部門において、全部門での史上最年少で第1位、及び文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。併せて特別大賞(内閣総理大臣賞)を受賞。その他にも、日本ジュニア管打楽器コンクール、日本クラシック音楽コンクール、大阪国際音楽コンクールなど、これまで10歳以降に出場したコンクールでは全て第1位及び最高位を受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などと共演。

「EIGHT-JAM」「題名のない音楽会」「クラシックTV」「日曜日の初耳学」「スッキリ」「沼にハマつてきいてみた」「芸能人格付けチェック」など、多くのテレビ番組に出演している。トランペットを松田次史、辻本憲一の両氏に師事。2024年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。第7回服部真二音楽賞《Rising Star》を受賞。2025年2月に1stアルバム「Reverberate」をリリース。

児玉隼人オフィシャルサイト: [hayatokodama.com](http://hayatokodama.com)



©Yuji Ueno